

感染症対策について

質問 感染症に対する市の取り組みについて伺う。

市長 感染症全般への平時の取り組みとして、妊婦、子ども、成人に対する予防接種を実施している。妊婦には令和8年度からRSウイルス母子免疫ワクチンを、子どもには結核予防のBCGをはじめとした各種予防接種、成人には新型コロナウイルス及びインフルエンザワクチン等

を実施している。全国的かつ急速な蔓延のおそれがある指定感染症及び新感染症には、令和8年3月改定の福生市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、感染拡大の抑制、住民の生命及び健康の保護と住民生活及び市の経済に及ぼす影響の最小化を目指した対策を講じていく。

[麻しん（はしか）の現状と対策について](#)

質問 麻しんの現状と対策を伺う。

市長 令和8年5月24日時点で西多摩保健所管内の感染者数は2名。市では1歳児と就学前の年長児に麻しん・風しん混合のMRワクチンの定期接種を行い、市ホームページには海外渡航時の感染予防と発症が疑われる場合の適切な受診行動を掲載している。今後も感染症の流行を注視し適時適切な対応に努めていく。



正和会
小澤 芳輝 議員



子育て短期支援事業について

質問 子育て短期支援事業を実施すべきと考えるが市の所見を伺う。

市長 本事業は子育て中の家庭を支援するための重要な事業であると認識しており、現在は乳幼児を対象としたショートステイ事業を青梅市の社会福祉法人に委託により実施している。学齢期の子どもを対象とした事業の必要性も認識しているが受け入れ先が少ないなどの理由により

対象年齢を拡充する予定はない。今後も市広報、ホームページ等で周知を図りながら、まずは委託先として考えられる養育家庭を一軒でも増やせるように努め、さらなる充実を目指していく。

[妊産婦・乳幼児専用避難所について](#)

質問 災害時母子専用の避難所の整備が広がっているが、所見を伺う。

市長 市では高齢者や障害者が避

難生活を送れる福祉避難所は14か所を指定しているが、妊産婦・乳幼児専用の避難所はない。災害対策基本法では要配慮者に対する防災上必要な措置の実施に努めなければならないことから、本市においても災害発生時に妊産婦及び乳幼児対象の福祉避難所の指定に向けた検討の必要があると考えている。今後、災害対策推進本部にて検討を行っていく予定。



公明党
青木 健 議員



町会・自治会について

質問 市として町会・自治会の役割をどのように位置づけ、加入促進のための取り組みを行っているのか。また、電子回覧板アプリ導入等に対する市の考え方について伺う。

市長 防犯・防災活動や環境美化など町会・自治会は地域づくりにおいて重要な役割を担っており、加入促進のために市ではPR動画の作成、イベントへの出展、会報等による紹

介を通してその魅力を広く発信している。電子回覧板の導入については、先行自治体の効果や課題を検証した上で、今後町会長協議会において必要性等を伺い判断していきたい。

[成年後見制度について](#)

質問 成年後見制度について、本市での取り組みと課題について伺う。

市長 平成21年に成年後見センター福生を開設し対応を本格化して以

降、事業を拡充するとともに、同センターを地域連携ネットワークの中核機関として位置づけ制度の利用を推進している。相談件数は増えているが成年後見制度の認知不足が課題であるため周知に努める。また、今年度より市民後見人養成推進事業を開始、市民後見人の養成に取り組むことで成年後見制度の担い手の拡充を図っていく考えである。



公明党
川崎 善友 議員



▲町会長協議会PRブースの様子

地域包括支援センターでの取組について

質問 地域包括支援センターでの取り組み状況及びその課題について伺う。

市長 市では市内3か所の地域包括支援センターで総合相談支援事業を実施し、様々な悩み事や心配事に対する相談に対応している。今後の生活に関する相談や入院・入所時の身元保証、権利擁護等将来的な支援に関する相談が増加している。その

他「8050問題」のような複合的な相談もあり、関係機関につなぐなど連携した支援に努めている。また、職員の将来の不足に対応するため令和6年度に地域包括支援センター関連条例の一部を改正し、より柔軟な職員の配置が行える体制を整備した。

[福生市の健康診査対象者が人間ドックを受ける場合の補助について](#)

質問 福生市の健康診査対象者が

人間ドックを受ける場合に市による助成ができないか伺う。

市長 市民の健康保持の一環として市では各種成人健康検査とがん検診を行っており、内容の充実と市民への周知により引き続き受診率の向上に努めたい。人間ドックを受ける場合の補助については実施の予定はないが、他市の実施状況の把握やその効果検証を行っていききたい。



日本共産党
伊藤 広美 議員



米軍横田基地について

質問 基地に対する総合要請について、前回との主な変更点を伺う。

市長 横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、毎年横田基地対策に関する要望書を作成し、基地に関係する国の様々な機関や在日米軍等の機関に対し総合要請を行っており、要請の直前まで協議を重ねている。前回との主な変更点は、横田基地をとりまく状況を記載する

前文に降下訓練における羽村市への場外降着及び福生市へのパラシュート落下事故等を追加。また、要望事項では令和7年6月に横浜ノース・ドックから横田飛行場へ飛来したオスプレイに関する情報が4か月も経過したのちに公表されたこと、泡消火薬剤に関しては発生から2年以上経過してから情報提供があったことを追加する等の変更をした。

[PFAS\(有機フッ素化合物\)による環境汚染問題について](#)

質問 PFASのような新たな危険が判明した化学物質への市の対応について伺う。

市長 新たに判明した危険物質について、市の計画等への明記はないが、国や都など関係機関と連携して情報収集及び調査を行い迅速に市民等への情報提供及び注意喚起を図る。



日本共産党
市毛 雅大 議員



▲総合要請の内容は市HPに掲載